

キャッシュレス決済導入なら
国が推進する

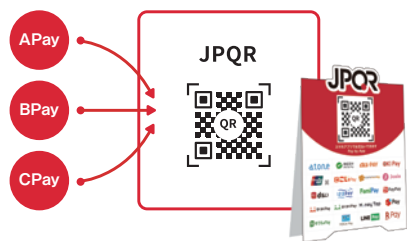
JPQR

新しい
生活様式への
対応、感染症
対策に!

JPQRを導入すべき3つの理由

理由 1 QRコードが1枚に!

QRコードひとつで複数のQRコード決済サービスに対応。決済が簡単&スピーディーに。店頭もすっきり!



*台紙はイメージです。実物とは異なる場合があります。

理由 2 一括申込みができる!

20社以上のQRコード決済サービスを一括申込み!お申込みはオンラインでOK!



理由 3 導入費・維持費0円!

紙のQRコードステッカーを設置するだけ!スマホやタブレットなどお持ちの端末があれば、無料でお店に導入できます。

導入費・維持費 **0**円
QRコード
ステッカー無料配送

※別途決済手数料・入金手数料が発生します。
詳しくはWebサイトをご覧ください。
(<https://jpqr-start.jp/business/>)



マイナポイントや各社キャンペーンでも集客率UP!

マイナポイントに対応するQRコード決済サービスは、ほぼ全てJPQRで導入が可能です。

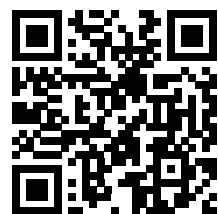
詳細と無料申込みは、Webサイトから!

URL <https://jpqr-start.jp/business/>

JPQRに関するお問い合わせはコールセンターまでお電話ください。

JPQR普及事業コールセンター

0120-206-100 受付日時はWebサイトをご確認ください



統一QRコード決済「JPQR」のご案内



総務省

情報流通行政局
情報流通振興課
デジタル企業行動室

キャッシュレス決済とは

キャッシュレス決済とは現金を使わない決済方法のことです

本資料でご説明する

JPOR は
QRコード決済です！

代表的なキャッシュレス決済

クレジットカード デビットカード



ユーザーが提示する磁気・ICカードの情報を接触型の専用端末で読み取り、決済する方式

長所

- 利用者が多い
- 高額決済時でも利用可
- 付帯サービスが充実

短所

- × 導入・維持費用（端末・通信）
- × 手数料が高い（業種・規模）
- × 入金までの期間が長い

電子マネー



ユーザーが提示するICカードやスマートフォン等の情報を非接触型の専用端末で読み取り、決済する方式

長所

- 交通利用など利用者が多い
- 決済スピードが速い

短所

- × 導入・維持費用（端末・通信）
- × 手数料が高い（業種・規模）
- × 入金までの期間が長い

QRコード決済



店舗が提示するQRコードの情報をユーザーがスマートフォン等で読み取り、決済する方式

※店舗提示型の場合

長所

- 維持・導入コストが不要
- 相対的に手数料が安い
- 入金までの期間が短い

短所

- × 普及段階にあるため、不慣れなユーザーは決済に少し時間がかかる

QRコード決済サービス全般の特徴

JPQRを含むQRコード決済サービスは、相対的に手数料が低く入金サイクルもスピーディーで店舗にやさしい決済手段です。その手軽さから、ここ数年利用者も急速に増えています

QRコード決済のメリット

キャッシュレス決済がはじめての店舗様にとっても導入ハードルが低いのが特徴です



✓ 手数料の相場は0~3%程度
※クレジットカードは3~6%が一般的

✓ 最短翌銀行営業日に入金
※遅くとも月に1~2回程度の入金

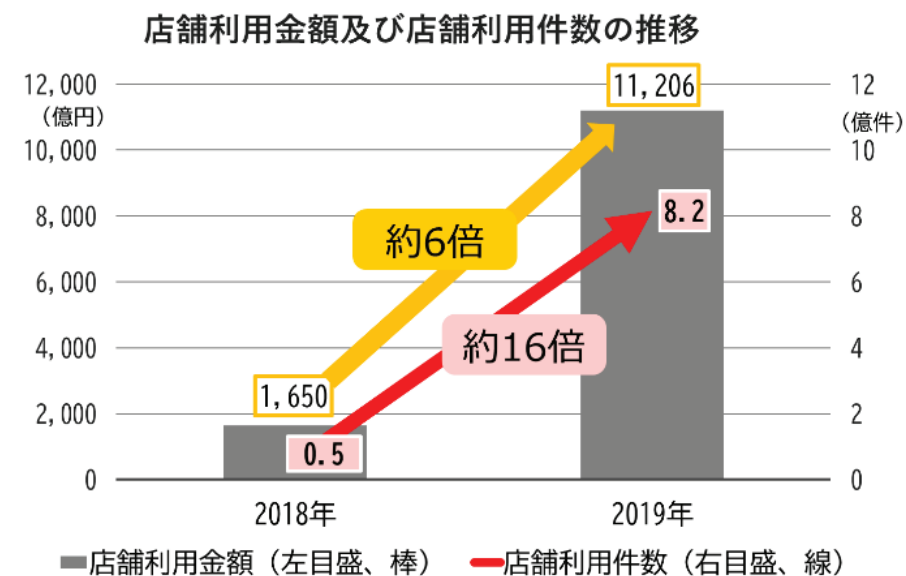


✓ カードリーダー不要のため導入費・維持費用0円

✓ 初期設定後ステッカー設置で簡単にサービス利用開始が可能に

QRコード決済の普及状況

店舗での利用件数は1年で約16倍に拡大



※2
使える店舗の増加に伴い利用者の数も増加。
現在月約1800万ユーザーが利用しこの1年で約11倍に

※1,2 (参照) キャッシュレス推進協議会：
<https://www.paymentsjapan.or.jp/publications/code-payment-trends-202006/>
※2 各社の毎年12月の月間アクティブユーザーの総計

総務省 統一QR「JPQR」とは

「JPQR」はたくさんある決済QRコードを、1枚のステッカーで読み取れるようにした統一QRコード規格です。2020年度以降、全国で説明会を開催し、普及活動を行っています

JPQRの概要



- ✔️ 店頭にはこれ1枚設置でOK
- ✔️ 使える決済サービスのロゴを見てお客様ご自身がスマホのアプリを起動。QRを読み取って会計
- ✔️ 国内大手QRコード決済サービスはじめ、約20社の支払いに対応

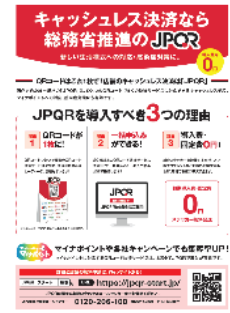
JPQR普及事業の進捗

- ✔️ 2019年度は5県にて実証的に先行導入を実施
2019年度は、岩手県、長野県、和歌山県、福岡県、栃木県にて先行導入を実施。実証事業の結果、5県で約12,000店舗がJPQRを導入した
- ✔️ 2020年度はWEB受付システムを整備し全国へ
2020年度は、JPQR事業WEBサイトでの申込受付を実装。300以上の自治体・商工団体・組合等の説明会実施要請があり、47都道府県にて400回弱の説明会を開催し、4,000店舗以上がJPQRを導入した

参加決済サービス一覧



*1福岡銀行のみ対象 *2楽天ペイ（アプリ決済）



JPQRのご利用方法

本事業で対象とするJPQRはステッカー読み取り型のQRコード決済です
3ステップで簡単に決済でき、接触することなく決済できます

JPQRの決済方法

Step1.

お客様が、スマホの
決済アプリでQRコードを読取



Step2.

お客様が金額入力し
「支払」ボタンを押す



Step3.

画面を店員に見せ、
確認し、決済完了！



- お客様はご自身が使いたい〇〇Payを起動し読み取ります
- 決済の確認方法として、各決済事業者から送付される通知メールや、各社の売上管理画面を確認する方法もございます

決済方法動画はこちらから！



< JPQR導入店舗の声 >

現金の手間を削減！ 様々な業種の店舗がJPQRを導入しています

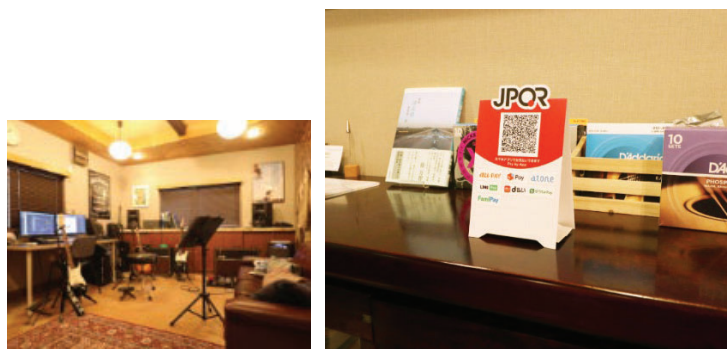
case.3：音楽教室

QRコードがひとつになり、省スペースで、見た目もよく、お客様にもわかりやすい。

最近では現金を持たない方も増えてきているため、受講生の方のニーズに応えるためにここ数年、幅広い支払い方法を導入してきました。QRコード決済の場合、決済サービスを増やすごとに設置する台紙が増えてしまうため、どのように簡素化するかが課題でした。そんな折にJPQRを知り、QRコードがひとつにまとまることをメリットに感じ導入を決めました。どの手段で支払いが可能であるか、お客様にも提示しやすくなっているので、非常に便利だと思います。お釣りを用意する手間が減ったのも嬉しいですね。

JPQR導入の決め手

- 1枚で、どのサービスが使えるかがわかりやすい！
- お釣り（現金）を用意する手間が減った！



case.4：タクシー

お客様の取りこぼし防止には、JPQRのようなサービスの導入が不可欠でした。

よくあるのが「カード使える？」というお客様の質問。もしも「使えません」と答えれば、その人は別のタクシーを探し始めます。タクシーにとって、どんな決済方法にも対応できるようにすることは、見込み客を取りこぼさないための常なる課題です。将来的には、キャッシュレス決済がどんどん普及するはずですから、対象サービスが豊富なJPQRのようなサービスは待ち望んでいて、発表後すぐに申込みました。お釣りもないので会計時にバタバタせず、機器の準備も要らないので、使い勝手は非常にいいですね。

JPQR導入の決め手

- 対応しているQRコード決済サービスが多く、幅広いお客様のニーズに対応！
- お釣りも機器も不要で支払いが簡潔！

